レファレンスだより　2018年4月号　No.185

福岡市総合図書館　図書サービス課　図書資料係　☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数（2018年1月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
8	1462	319	241	310
国際	国連	こども	ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰ	合計
501	43	651	867	4402

（開館日　22日　一日平均　200件）

今月の特集！

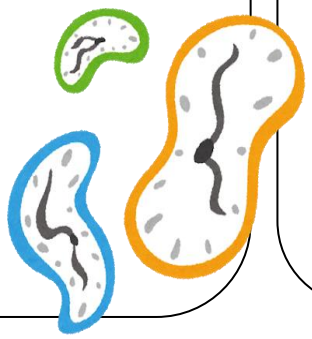
先祖・家系を調べたい

調査の方法がわかる本

❖『ファミリーヒストリー　家族史の調べ方・まとめ方』
宮 徹／著　WAVE出版　2015年

❖『姓氏・家系・家紋の調べ方』
丹羽 基二／著　新人物往来社　2001年

❖『系図研究の基礎知識　第4巻　総括』
近藤 安太郎／著　近藤出版社　1990年



先祖の戦争体験
～軍歴照会～

陸軍は都道府県庁、海軍は厚生労働省への請求となります。
いつ、どこの部隊に所属し、どのような作戦に従事したのかが詳細に記されているようです。

武士の名簿
～分限帳～

先祖が江戸時代に武士だった場合は、藩の名簿（分限帳）に記されています。石高などの記載もあります。各県で収集が異なりますので、先祖が所属していた藩の図書館にお尋ねください。

福岡・九州の苗字について

❖『九州の苗字を歩く　福岡編』
岬 茫洋／著　梓書院　2002年
市区町村ごとに分布する苗字の特徴や、なぜその苗字がついたのか歴史的背景について詳しい紹介があります。（※福岡編以外にも九州各県分を所蔵）

❖『あなたの知らない九州・沖縄地方の名字の秘密』
森岡 浩／著　洋泉社　2014年

こんな質問がありました！

Q：大河ドラマのタイトル「西郷どん」はなぜ「さいごうどん」ではなく「せごどん」と呼ばれるのか。方言だと思われるが、鹿児島の知人も不思議だと言っていた。実際に「西郷どん」を「せごどん」と言うのかどうか知りたい。（人文科学）

■ドラマの原作が連載されていた雑誌を調べる

『本の旅人　2017 年 1 月号』（KADOKAWA）閉架書庫

レファレンス協同データベースで検索すると、ドラマの原作の小説**『西郷どん』（林真理子／著・KADOKAWA）**は雑誌**『本の旅人』（KADOKAWA）**に連載されていたことがわかった。バックナンバーを見てみると、「林真理子さんが語る、西郷どん！」という林真理子氏の講演会の記事があり、タイトルを決めたいきさつが述べられている。鹿児島空港の書店で「西郷（せご）どん」という言葉を目にしてタイトルにした、とある。

■「せごどん（西郷どん）」という読み方の本や記事を探す

国立国会図書館のホームページで「セゴドン」という語で検索すると多数ヒットし、林真理子・著の『西郷どん』出版以前に「せごどん」という読み方の本が多くあることがわかる。

『新聞研究　1976 年 4 月号』（日本新聞協会）

国立国会図書館デジタルコレクション　図書館送信参加館内公開

「セゴドン没後百年（平田恒二）」という記事があり、総合図書館の端末で閲覧ができる。「鹿児島といえばやはり「西郷さん」、地元では「セゴドン」といっているが、…」という記述がある。

■方言辞典をみる

『鹿児島弁辞典』（石野 宣昭／著　南方新社　2012 年）2 階 B1　R818.97/ｲ

標準語「西郷殿」が鹿児島弁「せごどん」となっている。

Q：江戸時代の人相書きがみたい。警察で使われている似顔絵のルーツになったそうだ。（人文科学）

そもそも江戸時代の人相書きは特徴を文字で書き表したもので、絵ではなかったようだ。絵が描いてある資料は確認できなかった。

■参考図書

『日本史大事典　5　と～ふ』（平凡社　1993 年）2 階 C10　R210.03/ﾆ

「逃走中の犯罪者などを捜索するため、人相その他、当該人物の特徴を書き記して、諸方面に配布するもの。（中略）顔つきの特徴はもとより、名まえ、生国、年齢、逃亡時の衣服・所持品、身体的特徴、方言ないし発声の特徴も掲げ、記述は簡単であったが、当時の閉鎖的社会においてはある程度の効果があった。」

『日本大百科全書　18　2 版　にほんけ-はな』（小学館　1994 年）2 階 C1　R031/ﾆ

「その人の人相の特徴を記して配布するもの」

『徳川幕府事典』（竹内 誠／編　東京堂出版　2003 年）2 階 C10　R210.5/ﾄ

「こうした文字のみで記した人相書でどれほど犯人像を通達できたかは定かではないが、（中略）人相書が犯人逮捕において一程度の効果を発揮していたのは確かであろう。なお、人相書に現在の様な犯罪者の面体が描かれるようになったのは明治期に入ってからとされる。」

■人相書きについて書いてある資料

『江戸の御触書』（楠木 誠一郎／著　グラフ社　2008 年）1 階ポ 67　322.15/ｸ

指名手配された人物の特徴を文書で詳しく伝えているとある。

『考証「江戸町奉行」の世界』（稲垣 史生／著　新人物往来社　1997 年）2 階 D10　322.15/ｲ

大盗日本左衛門に対する人相書が掲載されている。

『人殺・密通　第 4』（石井 良助／著　明石書店　1990 年）2 階 D10　322.15/ｲ

人相書の制度について記述あり。

『本郷』（2002 年 1 月号　吉川弘文館）　閉架書庫

「人相書は似顔絵で画いたものではなく、当該人物の顔付きや、身なりを文書で箇条書きに書いたものであり、領主が出した人相書に絵で画いたものはない。」

Q：小豆は皮が赤く中は白いのに、餡にするとなぜ黒くなるのか。（自然科学）

■百科事典を調べる

『日本大百科全書　1　あ-あん』（小学館　1994 年）2 階 C1　R031/ﾆ

「あずき」を引く。種皮に含まれる色素はアントシアン。アルカリや鉄鍋で煮ると黒ずみ、酸や空気に触れると赤みを増すとある。

■小豆関連の資料を調べる

『あずき博士が教える「あずき」のチカラはこんなにすごい!』

（加藤 淳／著　ロングセラーズ　2015 年）分館所蔵

あんの色について、簡単な記載あり。あんの色は、あずきの種皮の色が影響し、種皮の色調の明るさや赤味の程度が、あんの色にまで反映する。あずきに含まれるアントシアニン系の色素は pH で色調が変わるとある。

■食品事典で調べる

『稲・米・飯小百科』（中西 喜次・塩見 成子／共著　楽游書房　1980 年）閉架書庫

餡ではないが、赤飯の項目に色素について記載がある。

『穀物・豆（新・食品事典）1』（河野 友美／編　真珠書院　1994 年）2 階 E12　616/ｺ

小豆の項目に、色素について記載あり。

Q：中国の「晩清小説」（「清末小説」ともいう）を日本語で読める本や作品があるか。（国際）

■晩清小説について調べた資料

『中国小説の歴史的変遷：魯迅による中国小説史入門』（魯迅/著　丸尾常喜/訳注　凱風社　1987 年）

2 階 B24　920.2/ﾙ

（要約）魯迅は、李家宝（字伯元）『官場原形記』、呉沃堯（字趼人）『二十年目睹之怪現状』らの作品を一括して「譴責(けんせき＝叱責を加える意)小説」と呼び、「風刺小説」と区別している。これらは 20 世紀初頭のいわゆる「晩清小説（清末小説ともいう）」の主要な潮流をなす。他『孽海花』曹樸（字孟樸）、『老残遊記』劉鶚（字鉄雲）

『新しい中国文学史』（藤井 省三・大木康/著　ミネルヴァ書房　1997 年）2 階 B24　920.2/ﾌ

上記の四作品は清末四大小説と称されるとの記載あり。

『原典で読む図説中国 20 世紀文学』（中国文芸研究会/編　白帝社 1995 年）2 階 B24　920.27/ｹﾞ

各作品の作家の顔写真、原文（一部）、語釈、解説、研究資料の記載あり。

■日本語で所収されているか確認

①官場原形記　上５０、下 51 に分冊して所収。

『中国古典文学大系　50　51』（平凡社　1968 年）2 階 B24 928/ﾁ

②二十年目睹之怪現状　日本語訳は所蔵なし。日本語訳が出版されているかは不明。

③孽海花

『中国現代文学選集 1　清末・五四前夜集』（平凡社　1963 年）閉架書庫　928/ﾁ

④老残遊記

『老残遊記（東洋文庫）51』（劉 鶚／著　岡崎 俊夫／訳　平凡社　1965 年）2 階東洋文庫　923.6/ﾘ

※「２階Ｃ１」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にＲが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。

今月の一冊！

『日本現代怪異事典』
（朝里 樹／著　笠間書院　2018 年）２階Ｄ７　R388.1/ｱ

この本は、現代（1945 年・昭和 20 年以降）を舞台として語られた都市伝説や学校の怪談などに登場する怪異のうち、人々の間で事実として語り広まっていると思われるものを収集し、五十音順に並べたものです。

巻末には五十音索引の他、類似怪異、出没場所、使用凶器、都道府県別の索引も収録されています。

使ってみました　⇒「犬鳴峠」

「福岡県宮若市と同県粕屋郡久山町の境を跨ぐ峠で、旧道と呼ばれる現在閉鎖されたトンネルを中心としてさまざまな怪異が起こることで有名。（中略）他にも事件や事故の現場となったことが多く、それが心霊スポットとして噂される原因の一つとなっていると思われる。この峠周辺にまつわる怪異としては犬鳴村、禍垂（かすい）がある。」

子どもの頃、学校で流行した懐かしい怪談を調べたいときに便利な一冊。

総合図書館　専門図書　新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号	タイトルコード
人文	入門デジタルアーカイブ	柳 与志夫／編集	勉誠出版	007.5/ﾆ	1000001659350
	マタ・ハリ伝	サム・ワーヘナー／著	えにし書房	289/ﾏﾀ	1000001659780
社会	現代貨幣論	金子 邦彦／著	晃洋書房	337.1/ｶ	1000001660578
	パワハラ・セクハラ・マタハラ相談はこうして話を聴く	野原 蓉子／著	経団連出版	366.3/ﾉ	1000001655832
自然	ジェネリック	ジェレミー・A.グリーン／[著]	みすず書房	499.1/ｸﾞ	1000001655408
	今を映す「トイレ」	彰国社／編	彰国社	518.51/ｲ	1000001655437

今月の展示　～総合図書館2階　展示図書のご案内～

毎月４つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

≪人文科学≫　**地図の世界**

≪社会科学≫　**貨幣・通貨**

≪自然科学≫　**環境・公害を考える**

≪国際≫　**日本入門**